

■施策評価シート 7-01-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	地域福祉
基本方針	「地域力」のあるまちづくり	基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	7-01-①	施策名	地域福祉の担い手の育成と活躍の促進

<p>施策の概要</p> <p>中間支援組織である(福)草津市社会福祉協議会と連携して、福祉講座等を実施し、地域福祉の担い手の育成や各種ボランティア活動の支援を行うとともに、地域での活躍を促進します。また、民生委員・児童委員等の、福祉の担い手の活動を支援します。</p>
--

成果指標(単位)	民生委員児童委員活動日数(日)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	45,000	45,000	45,000	45,000
実績値	39,936	42,819			

<p>成果指標実績に対するコメント</p> <p>委員活動日数は前年度より増加するとともに、1人あたりおよそ2日に1回活動を実施できた。</p>

<p>施策の達成度評価</p> <p>地域福祉を担う福祉活動推進員の育成やボランティア活動の促進に向け、(福)草津市社会福祉協議会と連携した取組を行うとともに、民生委員児童委員による地域に根差した献身的な活動が展開できた。</p>
--

<p>評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方</p> <p>(福)草津市社会福祉協議会と連携し、各種ボランティアや福祉活動推進員の育成等に取り組むとともに、民生委員児童委員の活動支援を行う。</p>
--

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
民生委員児童委員協議会活動補助事業	健康福祉政策課	○	民生委員児童委員による献身的な活動が継続して実施された。
社会福祉協議会活動補助事業	健康福祉政策課	○	地域福祉の担い手育成に向け、(福)草津市社会福祉協議会において、「草津市福祉教養大学」および「大学院」等を実施された。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
民生委員児童委員諸事務	健康福祉政策課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 7-01-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	地域福祉
基本方針	「地域力」のあるまちづくり	基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	7-01-②	施策名	地域福祉を支えるネットワークづくり

施策の概要
 各学区社会福祉協議会およびまちづくり協議会や町内会の活動等を中心に暮らしの問題を解決する住民主体の活動を広げ、地域で支えるネットワークづくりを推進します。

成果指標(単位)	災害時要援護者名簿への登録者数(人)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		4,000	4,100	4,200	4,300
実績値	3,919	3,998			

成果指標実績に対するコメント
 目標値に僅かに届かなかったものの、期待する登録者数をほぼ達成することができた。

施策の達成度評価
 民生委員や町内会との連携を進めることで、地域内にて要援護者に関する情報共有や制度の周知を行うとともに、新規登録者の促進を図ることができた。

評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方
 引き続き民生委員や町内会との連携を図りながら、災害時のみならず平時でも地域内で助け合える仕組みづくりを推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
社会福祉関係団体補助事業	健康福祉政策課	○	各社会福祉関係団体に対して補助・支援を行った。
地域福祉計画推進事業	健康福祉政策課	○	(福)草津市社会福祉協議会が実施する各種事業に対して補助・支援を行った。
災害時要援護者登録制度推進事業	健康福祉政策課	○	民生委員等と連携し、災害時要援護者名簿の作成・登録を推進した。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
社会を明るくする運動啓発推進事業	健康福祉政策課
戦没者遺族等援護推進事業	健康福祉政策課
戦没者遺族等援護推進事業	人とくらしのサポートセンター
福祉バス運行事業	健康福祉政策課
福祉事務所運營業業	健康福祉政策課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 7-02-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	地域福祉
基本方針	福祉の総合的な相談・支援の充実	基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	7-02-①	施策名	セーフティネットの充実

施策の概要

経済的な困窮等、市民の生活安定の危機に対し、福祉施策や年金、生活困窮者自立支援事業等による支援、生活保護制度の適用を行います。また、働く意欲と能力のある人への就労支援および就労指導、住まいに困窮される人への市営住宅等の供給を行います。

成果指標(単位)	就労を理由として生活保護を廃止したケースの比率(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		1.8	2.0	2.0	2.0
実績値	1.8	2.1			

成果指標実績に対するコメント

就労を理由として生活保護を廃止したケースの割合は、令和2年度の1.8%(15件/830世帯)から令和3年度の2.1%(18件/841世帯)へと0.3ポイント増加し、目標値を達成することができた。生活保護を受給する世帯の数も前年度に比べて増加したが、働く意欲と能力のある人への就労支援・就労指導を行ったため、就労により生活保護を廃止した件数も増加した結果と考える。

施策の達成度評価

関係機関と連携し、市民の最低限度の生活を維持するとともに、引き続き、成果指標の達成に向け、ケースワーカー、就労支援員(就労相談員)、関係各課、ハローワークといった関係機関と連携支援、就労相談、就労意欲の喚起等の支援強化を行っていく必要がある。

評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方

ケースワーカー、就労支援員(就労相談員)がハローワークと連携し、稼働能力者に対して、積極的に就労意欲の喚起を行う。また、生活困窮者には生活困窮者自立支援事業、生活保護受給者にはハローワークとの連携事業である生活保護受給者等就労自立促進事業、自立促進を図る就労自立給付金等を活用しながら目標達成に向けて取り組む。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
就労支援相談員配置事業	人とくらしのサポートセンター	○	就労支援相談員を1名配置し、20名に対し延べ244回の就労相談を行い、うち8名が就労に結び付いたことから、期待通りの成果を得ることができたため。
生活保護費支給事務	生活支援課	○	生活保護を申請された方に対して、訪問・資産調査等を実施し、適正に生活保護を適用した。また、被保護者の収入状況を的確に把握し、適正に生活保護費の支給を行った。
国民年金事務	保険年金課	○	年金事務所と連携し、各種届出、免除制度等、年金制度に関わる支援を行うことができた。
市営住宅運営事業	住宅課	△	住まいに困窮される方に市営住宅の新規募集を行っているが、老朽化等により募集可能な住居を十分に提供できていないため。

■施策評価シート 7-02-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
生活保護費返還金債権管理回収事務	生活支援課
生活保護法施行事務	生活支援課
行旅病人・行旅死亡人に対する扶助事業	人とくらしのサポートセンター
災害被災者見舞金交付事業	人とくらしのサポートセンター
社会福祉関係団体補助金事務	人とくらしのサポートセンター
新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付事業	人とくらしのサポートセンター
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業	人とくらしのサポートセンター
在日外国人老齢福祉金支給事務	保険年金課
就労支援対策事業	商工観光労政課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 7-02-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	地域福祉
基本方針	福祉の総合的な相談・支援の充実	基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	7-02-②	施策名	福祉の総合相談窓口の充実

施策の概要

多様で複合的な生活課題を抱える人の相談を受け、相談者に寄り添いながら、共に課題を整理し、適切な支援を行います。

成果指標(単位)	「福祉の総合的な相談・支援の充実」に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	17.4	17.8	18.2	18.6
実績値	17.0	19.3			

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、「福祉の総合的な相談・支援の充実」に満足している市民の割合は、昨年度に比べ2.3ポイント増加し、目標値を上回る実績値となった。これは多様で複合的な生活課題を抱える人へ寄り添いながら相談を行い、各種制度利用につなげ課題解決に向けた支援を実施できたことへの評価が表れたものと考ええる。

施策の達成度評価

新型コロナウイルス感染症による経済的な影響により相談者が増加する中で、相談者の状況に応じ、生活困窮者自立支援制度をはじめとする各種制度等利用につなげ、課題解決に向けた支援を実施できた。相談者が課題を解決し自立していけるよう、今後も状況に応じた支援を実施する事が必要である。

評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方

福祉の総合相談窓口として、生活困窮者自立支援制度や各種制度等による支援を実施してきたが、多様で複合的な生活課題を抱える人に対しては、より充実した相談・支援を行うため、関係機関等との連携を強化し、課題解決や自立に向けた取り組みを実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
生活困窮者自立支援事業	人とくらしのサポートセンター	○	新型コロナウイルス感染症の影響による相談者等に対し、生活困窮者自立支援事業等の制度利用につなげ課題解決に向けた支援を実施できた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。